

2009年11月15日

編集・発行：社団法人教育文化協会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 総評会館内

tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <http://www.rengo-ilec.or.jp>

発行責任者：山本幸司専務理事

臨時総会を開催 一新役員体制 決まる

(社)教育文化協会(略称ILEC)では、第11回連合定期大会における役員人事に伴い、理事の一部交代が必要となったため、11月2日(月)に臨時総会を開催した後、第37回理事会を開催し、新役員体制を決定しました。その結果、草野忠義理事長が退任し、岡部謙治連合顧問(前連合会長代行)を新理事長として選任しました(2009-2010年度の新役員体制は、次頁の通り)。

退任のご挨拶——感謝

草野 忠義



連合の事務局長に就任して間もなく、当協会の理事長を兼務することとなり、その後、事務局長を退任、(財)連合総研の理事長就任後も兼務させていただき、以来早くも足掛け八年になりました。兼務のため、事務局のスタッフの皆さんや、構成組織の方々にご迷惑をおかけしたと思いますが、大勢の皆さんのご支援、ご協力をいただき、何とか与えられた業務を遂行することができたと考えております。この場をお借りして皆さん方に心からの感謝を申し上げます。

この間、当協会の設立十周年を迎えることが出来ましたし、活動の方向性についても、文化活動から教育活動をより重視する内容へと深化させることが出来たと考えております。一例として、将来の労働運動のリーダー養成を目的とした「Rengoアカデミー・マスターコース」の充実やこれから職業人になる大学生を対象とした「連合寄付講座」の開設と拡充などをあげることが出来ます。また、出版事業も前進を図ることが出来たと思いますし、「私の提言・連合論文募集」には寄付講座の受講生からの応募も続き、かつその論文の参考資料として(財)連合総研の研究成果物が活用されるなど、連合とその関係団体の活動の成果が幅広く実を結びつつあります。

重ねて皆様方の一層のご協力をお願いしつつ、退任に当たっての感謝の挨拶とさせていただきます。

就任のご挨拶

岡部 謙治



連合第11回定期大会で連合会長代行を退任し、このたび11月2日の教育文化協会臨時総会で理事長に就任いたしました。

連合が結成20年を迎えたこの年に日本の政治史上初めてといえる選挙による政権交代が起きました。日本のみならず世界中で新しい政治経済、価値観の変化が求められています。

連合はいま、労働を中心とした福祉型社会の建設に向けポスト20周年へ新たなスタートを開始しようとしています。そのための活動取り組みの領域は幅広く多岐に渡ります。

当協会が展開する労働者教育、教育文化活動は社会構造の変化や時代の要請に応えられる人材を育成することにより、労働運動の発展に寄与する目的を持っています。

協会のこの活動は希望と安心の社会を創り出すことに繋がる人間の営みのベースになるものだと思います。1995年の開設以来カリキュラムの充実や活動の強化を行われてきた役員、事務局の皆様方の志を引き継いでまいります。

教育・文化・出版の三事業の基本的な方向性を引き継ぎながらも取り組むべき事業の選択と集中をはかりながら活動の強化発展を進めてまいりたいと思っています。

会員の皆様方の一層のご支援ご協力をお願い申しあげて、就任のご挨拶とさせていただきます。

2009—2010年度（社）教育文化協会 理事・監事・評議員・顧問一覧

※は新任役員

理 事 24名

役職名	氏 名	所属団体・役職	役職名	氏 名	所属団体・役職、職業
理事長	岡部 謙治※	教育文化協会 理事長 連合 顧問	理事	加藤 友康	情報労連 委員長
			理事	竹内 法心※	J P 労組 委員長
副理事長	南雲 弘行※	教育文化協会 副理事長 連合 事務局長	理事	種岡 成一※	電力総連 会長
			理事	八野 正一※	サービス・流通連合 会長
専務理事	山本 幸司	教育文化協会 専務理事 連合 副事務局長	理事	渡邊 幸一	私鉄総連 委員長
			理事	新田 豊作	N H K 労連 顧問
常任理事	長谷川一博	教育文化協会 常任理事	理事	大川栄八郎	労金協会 専務理事
理事	石田 一夫	UIゼンセン同盟 副会長	理事	湯浅 義信※	全労済 常務執行役員
理事	徳永 秀昭※	自治労 委員長	理事	堀江 湛	慶應義塾大学 名誉教授
理事	西原浩一郎	自動車総連 会長	理事	高木 郁朗	山口福祉文化大学 教授
理事	中村 正武	電機連合 委員長	理事	秦野 幹夫	毎日新聞社 論説顧問
理事	河野 和治	J A M 会長	理事	若林 正人	エッセイスト
理事	中村 譲※	日教組 委員長	理事	澤田陽太郎	中央労働災害防止協会 理事長
理事	内藤 純朗	基幹労連 委員長			

監 事 3名

役職名	氏 名	所属団体・役職	役職名	氏 名	所属団体・役職
監事	根本 良作	連合 総合総務財政局長	監事	藤澤 洋二	海員組合 組合長
監事	小柳 正治	J E C 連合 会長			

評議員 7名

役職名	氏 名	所属団体・役職	役職名	氏 名	所属団体・役職、職業
評議員	高井 豊	生保労連 委員長	評議員	久保田泰雄	連合総研 専務理事
評議員	山浦 正生※	運輸労連 委員長	評議員	高橋 由夫	国際労働財団 専務理事
評議員	渡邊 和夫	フード連合 会長	評議員	松田 武彦	翻訳家
評議員	山口 浩一	交通労連 委員長			

顧 問 6名

役職名	氏 名	協会経歴	役職名	氏 名	協会経歴
顧問	鷺尾 悦也	元 理事長	顧問	笹森 清	元 理事長
顧問	西村 寿紀	元 専務理事	顧問	須藤 安三	元 副理事長
顧問	草野 忠義	前 理事長	顧問	高木 剛	前 Rengoアカデミー校長

【退任された役員の皆さま(敬称略)】

いままで、大変ありがとうございました。

前理事長	草野 忠義	前理事	森越 康雄	前評議員	土屋 哲世
前副理事長	古賀 伸明	前理事	桜田 高明		
前理事	山口 義和	前理事	小池 正明		

第15回通常総会を開催

－2009年度事業計画・予算を決定－

(社)教育文化協会(略称ILEC)は、2009年9月15日(火)、東京・千代田区の総評会館において、第15回通常総会を開催しました。

総会では、2008年度の事業及び決算報告等を行った後、2009年度事業計画・予算について審議が行われ、全会一致で承認されました。2009年度の事業活動についても、これまでの事業活動の基本的な方向性を引き継ぎながら、事業の一層の「選択と集中」を図り、効率的かつ効果的な事業運営に努めていくこととなりました。

(1) 教育事業

9回目を迎えるRengoアカデミー・マスターコースについては、一層の参加しやすさと受講効果の向上を目指します。具体的には、これまでの経験をふまえ、講義科目の時間配分の適正化や効果的な配置、ゼミナール大会の充実等を図ります。特に、今回は、中央労福協、ろうきん、全労済の活動を紹介する「特別セミナー」を新たに設けます。

また、「中小企業経営分析講座」「女性リーダー養成講座」「社会保障講座」「労働法講座」の各専門講座の企画・運営については、それぞれタイムリーな内容を盛り込みながら取り組んでいきます。

「連合寄付講座」については、引き続き、同志社大学、埼玉大学、一橋大学で開講し、「労働組合」や「働くということ」を主題に講義を展開していきます。さらに、新規開設にあたっては、大学所在地の地方ブロック連絡会および地方連合会と連携し対応していきたいと思います。

(2) 文化、出版・広報事業

連合結成20周年の記念事業の一環として取り組んだ「第6回連合・ILEC幸せさがし文化展」は、連合第11回定期大会会場において入賞作品の展示会を開催し、合わせて、入賞者の表彰、入賞作品集(図録)の発行も行いました。

出版事業については、昨年度から継続して取り組んでいる「労働者福祉論－各論」を連合新書No.17；高木郁朗編『共助と連帯－労働者自主福祉の課題と展望－』としてまとめ発行し、また、2010年5月を目途に、連合新書No.18；中村圭介著『地域で結ぶ(仮称)』を発行することになっています。このほか、連合から受託した『連合運動史第4巻』(対象期間；2004年10月～2009年9月)の編集作業に取り組み、2010年10月の第58回中央委員会を目途に刊行します。

広報については、ILECのホームページに、各事業活動の報告をはじめ、連合寄付講座の講義要録などを随時、掲載していきますので、どうぞご活用下さい。

Rengoアカデミー・第8回マスターコース修了式を開催

～25名の受講生が、連合運動の推進にむけた修了論文を作成～

Rengoアカデミー・マスターコースは、連合運動の次代を担うリーダーの育成を目的に、年間をとおして、前期6日間、後期はI・II合わせて8日間の集中合宿を基本に、ゼミごとの必修ゼミ合宿もおこないながら、担当講師の指導のもと修了論文をまとめて1年間で修了するプログラムです。これまでに186名の修了生を輩出し、現在それぞれの立場から連合運動の一翼を担い、活躍しています。

9月15日(火)、総評会館において「第8回マスターコース」修了式をおこないました。25名の受講生は、昨年の11月以降計14日間の講義をつうじて連合運動に対する理解を深め、あわせて、ゼミナールでの指導のもとに修了論文を提出し、審査を経て、今回の修了式を迎えました。

修了式では、草野忠義理事長による主催者挨拶の後、高木剛Rengoアカデミー校長より修了証が手渡されました。高木郁朗教務委員長からは「今回の受講をいかして、労働組合の活動をより社会的意義のあるものにしてもらいたい。また、連合運動のリーダーとして、後進を育成していただきたい」とのご挨拶をいただきました。

修了式とその後の懇談会には、ゼミナールでご指導いただいた先生方や、修了生の出身組織代表者、マスターコース運営委員の方々にもご出席いただき、激励の言葉をいただきました。修了生の皆さんの、今後ますますのご活躍を期待いたします。

第8回修了生および修了論文のテーマ

ゼミ	修了生	論文のテーマ	ゼミ	修了生	論文のテーマ
大沢ゼミ	J P 労組 祖川美幸	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けてー労働組合運動としての取り組みー	橋元ゼミ	サービス・流通連合 黒瀧聡司	パートタイム労働者組織化後の組織運営の重要性についてー事例に学ぶー
	連合東京 上本俊之	労働組合のソーシャル・キャピタルづくりと地域活動ーワークライフバランスの推進を例にー		自動車総連 柏木昌隆	世話（ライフサポート）活動についてーその強化によって労働組合の活性化を如何にはかるかー
	自治労 座光寺成夫	男性の働き方改革を進めて男女平等社会にー男性の子育て参加に先進的に取り組む2人のパバチャレンジャーー		運輸労連 番場公広	労働組合が見える形として取り組むべき課題ー労働組合の「弱体化」にストップをさせるためのポイントはー
	情報労連 松崎貴茂	ワークライフバランスの実現に向けてー時間外労働の削減に向けた職場の働き方改革と労働組合の役割ー		J A M 小林妙	産業別労働組合の役割について
	労働金庫連合会 蒲原俊之	働き方の改善ーワークライフバランスの実現に向けてー		電力総連 遠藤唯充	労働組合の活性化は現場からー組合役員の意識と教育が及ぼす影響ー
	連合本部 杉山寿英	これからの労働教育と労働組合のかかわり		電機連合 宇田川早苗	総労働時間短縮のための日本型ワークシェアリングの実現をー豊かなライフスタイルを目指してー
高木ゼミ	連合岐阜 川尻史朗	連合運動の「見える化」計画ーマーケティングの手法を用いてー	毛塚ゼミ	UIゼンセン同盟 和田水穂	労働者のメンタルヘルスと労働組合の果たすべき役割ー判例を中心としてー
	情報労連 吉岡優	情報サービス産業における産業構造の実態と課題ーソフトウェア産業の労働適正化に向けてー		日教組 寺澤環	学校現場における臨時的任用者の更新拒絶に関する法的救済
	J A M 黒石尚稔	産業別労働組合J A Mのあるべき姿を考えるーJ A M神奈川を事例としてー		電機連合 内藤直人	高まる従業員代表制の立法化論議と労働組合の代表性の拡大へ向けて
	電力総連 及川裕介	これまでの連合、これからの連合ー結成20周年を迎えるにあたりー			
	労済労連 杉山秀隆	非正規労働者の雇用保険制度の現状と課題ー制度改革の方向と「共助」組織の果たす社会的役割についてー			
中村ゼミ	J E C 連合 谷口秀成	今後の中小労働運動を考えるーオルガナイザーが過去に経験した事例を踏まえてー			
	自動車総連 市ノ渡雅彦	存在を期待される労働組合			
	UIゼンセン同盟 柴田美千子	次世代リーダーへのメッセージーオールサンデーユニオンの事例から考えてー			
	運輸労連 増田光男	合併・分割・営業譲渡、M & Aに對し労働組合がなすべき課題ー日本の労働組合が翻弄されているこの課題に我々はどう立ち向かうべきかー			
	全労済 塚本直広	保険監督行政と共済ー助け合いの制度をまもるためにー			

(敬称略)



修了式での記念撮影

第9回マスターコースを開講します！

いよいよ第9回マスターコース（前期）が11月21日(土)よりスタートします。会員組織からは25名が受講されます。皆さまの温かいご声援とご協力をお願いします。

○日程 (1)前期 2009年11月21日(土)～26日(木) 6日間

(2)後期 〔I〕2010年4月17日(土)～20日(火) 4日間 〔II〕2010年5月12日(水)～15日(土) 4日間

○場所 三菱電機労働組合 MELONDIA あざみ野(横浜市青葉区)

第6回連合・ILEC 幸せさがし文化展 -働く仲間とその家族の公募展- ～入賞者・入賞作品が決定～

「連合・ILEC 幸せさがし文化展」は、働く仲間とその家族の文化活動の支援を目的に、絵画、写真、書道、俳句、川柳の5部門の公募展として開催しています。第6回文化展は、連合結成20周年記念事業の一環として取り組んだ結果、絵画113点、写真516点、書道159点、俳句629点、川柳1760点が、全国から寄せられました。多くの皆様よりご応募をいただき、感謝申し上げます。

厳正な審査の末、各部門の入賞者を決定し、10月9日の連合第11回定期大会において上位入賞者を表彰すると同時に、同会場ロビーで入賞作品の展示を行いました。主な入賞者と入賞作品は以下の通りです。

(入賞作品は、ILECホームページでご覧いただけます)

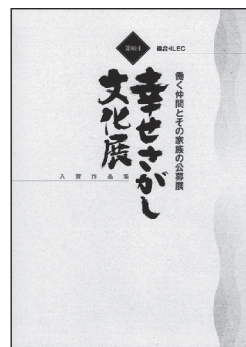
連合大賞・ILEC大賞・連合20周年記念特別賞 入賞者・入賞作品			
絵画の部			
○連合大賞	「ある風景」	片岡 美男	J E C 連合
○ILEC大賞	「黄泉路」	平光 康信	東京都
○連合20周年記念特別賞	「わたしの三首」	古橋 明佑美	情報労連
写真の部			
○連合大賞	「母娘」	風のマタサブロウ	電力総連
○ILEC大賞	「風揚げ」	本橋 一夫	自治労
○連合20周年記念特別賞	「パレード」	永田 龍也	運輸労連
書道の部			
○連合大賞	「長安秋望」	橋本 寿子	基幹労連
○ILEC大賞	「百人一首」	阪本 青悠	三重県
○連合20周年記念特別賞	「薫風にそよぐ樹々の揺らぎ」	安達 秋泉	J E C 連合
俳句の部			
○連合大賞	「職辞して全身噂のなかに」	安達 輝美	J E C 連合
○ILEC大賞	「弟もおたまじゃくしも成長期」	加古川 航太	兵庫県
○連合20周年記念特別賞	「亡き姉も来ていて摘める土筆かな」	儀光 明男	自動車総連
川柳の部			
○連合大賞	「手を握り働く手だとすぐわかり」	鬼子	栃木県
○ILEC大賞	「菜食と握手長生きしたくなる」	荻原 美和子	神奈川県
○連合20周年記念特別賞	「いつからかチンが我が家の料理長」	京の亀吉	自動車総連



第6回表彰式
(2009.10.9連合第11回定期大会)



展示風景
(東京国際フォーラム1Fロビー)



入賞作品と審査員講評を掲載した作品集を発行し、有料頒布しています。
(頒布価格：1,000円＋送料80円)

「私の提言 第6回連合論文募集」～入賞論文が決まりました

「私の提言 第6回連合論文募集」運営委員会（委員長・草野忠義(社)教育文化協会理事長）は、9月14日(月)第2回運営委員会を開催し、応募論文の審査を行いました。この事業は、連合から教育文化協会が受託し取り組んでいるもので、6回目を迎えた今回は、これまでで最も多い24編の力作の論文が寄せられました。

審査の結果、「優秀賞」2編、「佳作賞」3編、「奨励賞」1編の入賞論文を決定し、このうち「優秀賞」受賞者の浅山里奈さんと竹村恭子さんには、連合第11回定期大会において表彰を行うとともに、今回初めて、論文の提言要旨を発表していただきました。

浅山さんは、自身の子育てと仕事の両立の経験から、働きながら子育てする女性をサポートしていくため、労働組合が相談窓口や情報交換機能を一層充実させることなどを訴えました。

竹村さんは、ワークライフバランス実現のため、労働組合は行政や企業などを切り結ぶ役割を今こそ前面に打ち出すべきであると、連合運動に対しての提言を熱く語りました。

あわせて、入賞論文6編を掲載した入賞論文集を発行し、会員組織などに配付しました。各入賞論文は、ILECホームページに全文を掲載しています。

<入賞者一覧>

賞	氏 名	所 属	論 文 名
優秀賞	浅山 里奈	UIゼンセン同盟 兵庫県支部常任	子育てと仕事の両立を労働組合がサポート ー労働組合として出来る活動の提案ー
	竹村 恭子	NTT東日本川崎支店 元NTTアド分会執行委員	連合は生活と仕事を切り結ぶファシリテータとしての役割果たせ！ ～ワークライフバランス策試論～
佳作賞	橋本 祐	同志社大学大学院社会学研究科 科目履修生 連合寄付講座受講生	頼れる労働組合ー学生への取り組みの重要性ー
	堀内 昌子	塾教師	新しい時代の組合指導者に求められるもの
	山岸 拓也	一橋大学社会学部2年 連合寄付講座受講生	「男性中心」「正社員クラブ」からの脱却を ー医療・福祉分野から始める労働組合改革
奨励賞	福山 一枝	UIゼンセン同盟 ボンオーハシ労働組合書記長	意識改革を進めるために ー能力主義の賃金制度と教育の必要性ー



連合第11回定期大会での表彰後、提言要旨を発表する
浅山里奈さん



連合第11回定期大会での表彰後、提言要旨を発表する
竹村恭子さん

連合寄付講座（一橋大、埼玉大）後期が開講しています

連合寄付講座は聴講ができます。ご希望の方はILECホームページよりお申し込みください。

2009年度後期 一橋大学「連合寄付講座：現代労働組合論Ⅱ－労働組合の課題と取り組み」プログラム内容

	日程	講義テーマ	スピーカー
1	10/ 2	【オリエンテーション】	教員
2	10/ 9	【導入】	教員
3	10/16	経済構造の変化と雇用問題	高木郁朗 山口福祉文化大学教授／教育文化協会理事
4	10/23	正規・非正規労働問題と連合の取り組み	團野久茂 連合副事務局長
5	11/ 6	事例研究① 自動車総連の取り組み	西原浩一郎 自動車総連会長
6	11/13	事例研究② UIゼンセン同盟の取り組み	中村善雄 UIゼンセン同盟政策局長
7	11/20	【小まとめ】 パネラー積極的雇用政策の確立に向けて	教員、事例研究のスピーカー 他
8	11/27	働く女性をめぐる制度上の課題	片岡千鶴子 連合男女平等局長
9	12/ 4	労働組合(連合)はジェンダーにどう取り組んでいるのか	山口洋子 連合副事務局長
10	12/11	【小まとめ】 パネラー男女平等参画社会実現に向けて	教員・学生・井上久美枝 国公連合書記次長 他1名
11	12/18	労働・生活・社会の激動とリスクマネジメントー連合の政策の取り組み ①新たなセーフティネットの再構築に向けて	小島 茂 連合総合政策局長
12	1/ 8	労働・生活・社会の激動とリスクマネジメントー連合の政策の取り組み ②金融危機をどう乗り越えるのか、新たな社会の構築に向けて	逢見直人 連合副事務局長
13	1/22	【小まとめ】	教員
14	1/29	修了シンポジウム（連合会長を囲んで）ー労組の挑戦	古賀伸明 連合会長 他

2009年度後期 埼玉大学「連合寄付講座：働くということを考える」プログラム内容

	日程	講義テーマ	スピーカー
1	10/ 7	「働くということ」を考える	高木郁朗 山口福祉文化大学教授／教育文化協会理事
2	10/14	雇用危機について考える①ー自動車産業職場の取り組みー	高倉 明 日産労連会長
3	10/21	雇用危機について考える②ー連合の雇用政策ー	花井圭子 連合雇用法制対策局長
4	10/28	賃金と処遇について考える①ー金融産業職場の取り組みー	鹿島健次 全国労働金庫協会企画部担当部長
5	11/11	賃金と処遇について考える②ー連合の賃金政策ー	團野久茂 連合副事務局長
6	11/18	ワークライフバランス【労働時間管理を含め】について考える① ー電機産業職場の取り組みー	富高裕子 電機連合中央執行委員
7	11/25	ワークライフバランス【労働時間管理を含め】について考える② ー連合の時短・男女平等政策ー	山口洋子 連合副事務局長
8	12/ 2	非正規労働者・組織化の現状と労働組合の取り組み	一條 茂 連合組織拡大・組織対策局長
9	12/ 9	地方自治体職場の現状と労働組合の取り組み	中島圭子 連合総合政策局長
10	12/16	国際労働運動における連合の取り組み	中嶋 滋 ILO理事
11	1/13	新たなセーフティネットの構築にむけた連合の取り組み	逢見直人 連合副事務局長
12	1/20	【論点整理・まとめ】	教員
13	1/27	【修了シンポジウム】	古賀伸明 連合会長、連合埼玉会長、教員

～ 専門講座 これからの開催予定 ～

各講座の開催につきましては、詳細が決まり次第、アットマークれんごうおよびILECホームページを通じてご案内しています。多数のご参加をお待ちしています。

日 程	講 座 名	場 所
12月4日(金)～5日(土)(※)	第13期女性リーダー養成講座／基礎コース	東京
2010年1月22日(金)～23日(土)	第13期女性リーダー養成講座／応用コース	東京
2010年上期1泊2日(予定)	第8回社会保障講座／基礎コース	未定
2010年上期1泊2日(予定)	第4回労働法講座／基礎コース	東京

(※) 募集は締め切りました。

書籍紹介

連合新書16 労働組合必携シリーズⅠ

壁を壊す

中村圭介著・連合総研編・教育文化協会発行
発売元 第一書林 定価700円(税別)



新書版 192頁

高木剛連合前会長 推薦！

正規・非正規労働者、両者の「壁」をいかに壊していくか。分断から連帯・共感へ。非正規労働者の組織化の生きた戦略を学んでほしい。

連合新書17

『共助と連帯－労働者自主福祉の課題と展望－』高木郁朗編

近日発刊予定です。2005年8月に発刊した連合新書15『労働者福祉論－社会政策の原理と現代的課題－＜総論＞』の各論編です。ご期待ください！

編集後記

久しぶりのILEC通信発行です。今号は内容も非常に盛りだくさんとなり、2年に一度の「連合・ILEC幸せさがし文化展」の入賞作品紹介をはじめとして、ILECの教育、文化・広報の各事業がほぼ網羅されておりますので、どうぞご覧下さい。

岡部謙治新理事長のもと、事務局一同、働く仲間のための教育・文化事業をいっそう充実させるべく、努力して参る所存です。今後ともよろしく願いいたします。

8月3日付けで、事務局の多鹿あゆ美さんが退職されました。

次号は2010年1月中旬頃発行の予定です。

この印刷物は再生紙を使用しています。